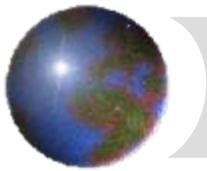




# ICANNトロント会合 政府諮問委員会報告 (2012年10月13日～17日)

2012年11月20日  
総務省 データ通信課  
中西 悦子



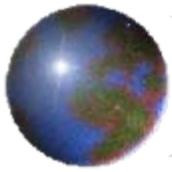
# 政府諮問委員会 (GAC) の概要 (1)

## ● GACの活動

- ICANNの活動に関し、次の事項について政府の立場から検討、ICANN理事会に対して助言。
  - － 公共政策課題に関する事項
  - － ICANNポリシーと各国国内法、国際協定との間で相互に関係がある事項
- ICANNの理事会はポリシーの制定、採択においてGACの助言をしかるべく考慮しなければならない。

## ● GACメンバー構成

- 現在、119の国・地域の政府及び27国際機関(オブザーバー)で構成。  
今回からケイマン諸島、ミクロネシア、及びツバルがメンバーに。
- 今回会合には50の国・地域の政府、3国際機関が参加。
- 日本からは総務省が代表として参加。



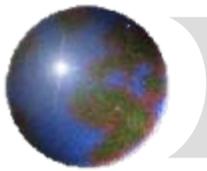
## 政府諮問委員会 (GAC) の概要 (2)

### ● プラハ会合での主要議題

- (1) 新gTLD(分野別トップレベルドメイン)
- (2) ハイレベル会合
- (3) その他

### ● 今後の予定

2013年4月、中国の北京において次回会合を開催予定。



# トロント会合結果概要（1）

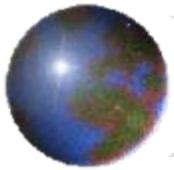
## （1）新gTLD（分野別トップレベルドメイン）の導入

### ①GAC早期警告の類型化

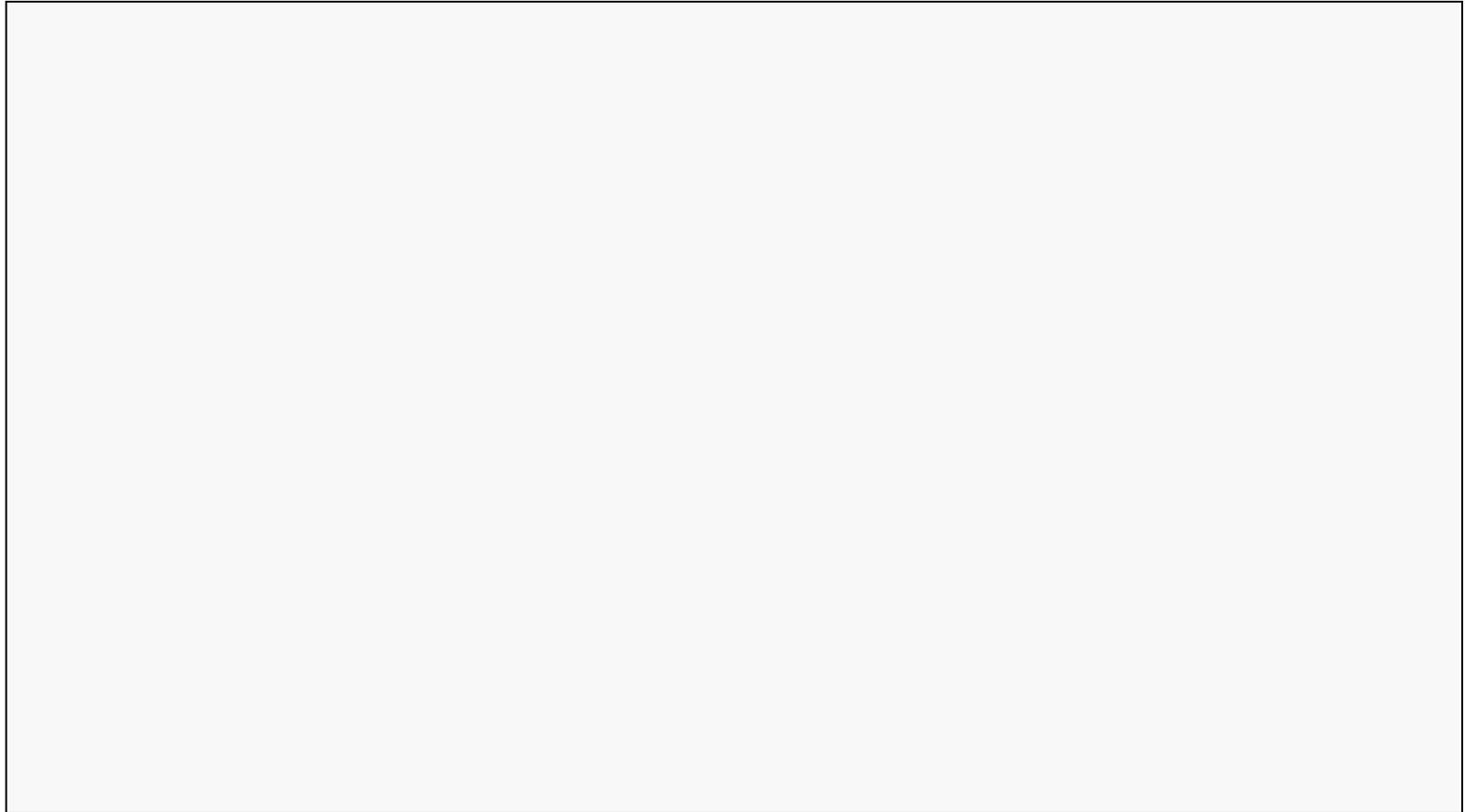
早期警告を発する文字列として、以下の類型を理事会に提示。

- ・消費者保護
- ・規制業種に係る文字列（金融、医療、法曹に関するもの等）
- ・競争法に係るもの
- ・一般名詞の排他的利用
- ・コミュニティのサポートのない宗教関連用語
- ・防衛的登録が必要となるもの
- ・地理的名称の保護
- ・デジタル著作権の保護に関するもの
- ・法令に定めのあるもの

- 11月20日にGACから申請者に早期警告を送付するとともに公表
- 申請者と早期警告発出者の間で調整  
（80%の払い戻しを受けるには早期警告受理後、21日以内に取り下げ）
- 3月13日 不服申立提出締め切り
- 4月7日～12日 北京会合でGAC助言を議論

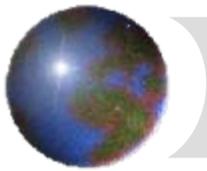


## トロント会合結果概要（2）



早期警告への対応:①申請取り下げ、②早期警告に対応、③何もしない

<http://newgtlds.icann.org/en/announcements-and-media/video/gac-early-warning-23oct12-en>



## トロント会合結果概要（3）

### ②GAC早期警告のフォローアップ

#### <理事会への確認事項>

- ・早期警告に基づき、申請者はどの程度まで申請書を修正できるのか？
- ・申請書（早期警告に基づく修正を含む）の内容の履行状況を担保する方法

#### <理事会への助言>

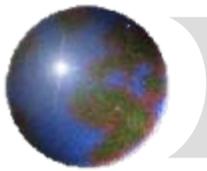
- ・これら約束事項について、ICANN監督下の強制力のある契約事項の対象とすること
- ・ただし特定の懸念に対応するための義務を標準契約に反映することは望まない

### ③IGO（政府間機関）の名称保護

#### <理事会への助言>

- ・政府間機関の略称、名称が不適切に第三者利用されないよう、新gTLDの委任手続きに先立って、トップレベル、及び、セカンドレベルの保護をはかるべき。第2ラウンド以降もこの措置ははかられるべき。

⇒GACとIGOsの間で保護対象機関名及びそれらの略称のリストを検討。



## トロント会合結果概要（4）



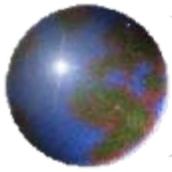
### (2) ハイレベル会合（10月15日（月）11:00～17:30）

**参加者**： 米国電気通信情報庁（NTIA） Strickling 長官、  
欧州委員会 Corugedo-Steneberg D 局長、  
カナダ産業省 Morgan 次官補、イラン情報通信技術省 Hakimjavadi  
副大臣等 50カ国3オブザーバが参加。日本からは山川顧問が参加。

#### 会合概要：

ICANNとその中における政府の役割について、政府高官の間でそれぞれの取り組み等を紹介しながら、意見交換を行った。主な意見等は以下のとおり。

- 多くの参加国がマルチステークホルダモデルの重要性を認識していることを確認。
- ICANN理事会は、GACの助言により政府の関心事項が何かを知り、その意思決定過程においてはGACの助言を考慮。政府は重要なプレイヤーであることを確認。
- 来年1月から開始される第2回透明性説明責任レビュー（ATRT）については、第1回レビュー時の積み残し課題対応、ICANNへのグローバルな参画の推進、財政面の透明性向上、GACの運用や作業方法の効率向上が挙げられた。
- 山川顧問からは、新gTLDプログラムについて、申請には地域差が大きく（途上国の申請数が少ない）、一部の者に利益が偏っていないか、透明性・説明責任の観点から次回の新gTLD募集（第2ラウンド）までにレビューすることとともに、途上国支援の必要性を提唱。



## トロント会合結果概要（5）

### (3) その他

#### ●GAC議長、副議長改選

任期満了に伴う改選の結果、以下の4名が選出された。

議長（任期2年）： Heather Dryden（カナダ） **再選**

副議長（任期1年）： Peter Nettlefold（オーストラリア）

Thomas Schneider（スイス）

Tracy Hackshaw（トリニダード・トバコ）